



# 関特だより

第 1 号  
発 行  
令和元年  
6月14日

## 「本年度の学校運営について」 校長 和田 俊人

「われらの光 養護学校、われらの力 養護学校」。入学式の日、初めて歌った当校の校歌に感動しました。昭和41年、県立初の「岐阜県立養護学校」として開校した当校への夢や期待が込められている歌詞であり、開校から半世紀を迎える今にあっても、その夢や期待にこたえ続ける学校であり続けたいと思っております。



さて、新たな元号が始まる今年度は、小学部2人、中学部4人、高等部7人の新入生を迎え、全校児童生徒54人でのスタートとなりました。児童生徒の自立と社会参加を目指し、毎日「楽しく・明るく・元気に通える学校」となるよう、教職員一同が力を合わせて取り組んでまいります。

## 「本年度の小学部運営について」

### 小学部主事 田中 久仁子

一人一人に応じたきめ細かな指導により、「生きる力」を育み、自立と社会参加を目指す児童の育成を推進してまいります。

「ほっと安心できる、子ども達の笑顔があふれる楽しい小学部」を目指して支援してまいります。



## 「本年度の中学部運営について」

### 中学部主事 堀 英男

小集団の強みを生かしつつ、生徒の成長を目指した工夫と柔軟性に富んだ活動、個に応じたきめ細かな支援を推し進めていきます。

「元気で、明るく、楽しく学べる」学部をモットーとして取り組んでまいります。



## 「本年度の高等部運営について」

### 高等部主事 井上 真典

自らの障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服して、社会参加・社会自立できる生徒の育成を目指します。

安心・安全な学校生活を心掛け、一人一人が自ら学び、主体的に行動できるよう支援・指導を行います。



## 「本年度の寄宿舎運営について」

### 舎務部長 森 克己

元年度の寄宿舎目標として「心身共に健康で、安心かつ快適な寄宿舎生活の支援を行う」「自分で考え、主体的に行動できる自立心を育成する」「お互いを認め合い、協力できる態度を育成する」を掲げて取り組んでいきます。



「本年度の教務部運営について」

教務主任 旭 秀織

個別の指導計画のPDCA

サイクルを展開する中で、個々に応じた学習支援の充実を目指します。さらに、新学習指導要領に対応した教育課程へと見直すとともに、教育課程改善のPDCAサイクルを支える校内体制づくりに取り組みます。



「本年度のキャリア支援部運営について」

キャリア支援部長 平野 倫史

小学部・中学部・高等部

それぞれの学部での将来を見据え、事業所体験実習・校内作業実習見学・事業所見学会などを行います。また、福祉サービス利用に関する相談なども行っておりますので、お気軽にご相談ください。



「本年度の学習支援部運営について」

学習支援部長 亀谷 真也

教育課程ごとにグループで、

新学習指導要領の視点から日頃の教育活動を見直す研究を進め、授業改善に取り組みつつ、教職員の専門的な知識と能力及び実践力を高めていきます。また、ICT機器の活用にも積極的に取り組んでいきます。



「本年度の生徒支援部運営について」

生徒支援部長 古田 康子

あたたかな人間関係づくり

をもとに、児童生徒会が中心となって学校行事を計画したり、MSリーダーズ活動、ニコニコキャンペーン等に取り組んだりしていきます。また、児童生徒が気軽に利用できる教育相談体制づくりにも努めていきます。



「本年度の保健安全部運営について」

保健安全部長 二村 敬子

保健安全部では、一人一人

の児童生徒、そして保護者の皆様にとって、当校が安心安全な学校であることを目指して、毎日の医療的ケアや保健環境の整備等に取り組んでいます。今年度もよろしく願いいたします。



「本年度の渉外部運営について」

渉外部長 東住 定夫

数年前から児童生徒(会員)

数に応じたPTA活動の在り方を、執行部をはじめとする保護者の皆様と考え、見直しを進めてきました。

今年度は、精選されたPTA行事一つ一つを魅力あるものにしていく足がかりの年にしていきます。



## 編集後記

昨年度まで、小学部・中学部・高等部・寄宿舎等の行事を中心に発行させていただきました「閑特だより」につきまして、より開かれた学校づくりに向け、裏面に掲載しました各部全体を支える「各分掌」からも、様々な情報を発信していきたいと考えております。

現在、学校は教育の質を維持しつつ、「働き方改革」の渦の中で大きく変わろうとしております。その変わり方に関するご意見をいただければ幸いです。

教頭 杉本 雅晴

